

504 10011 W000

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3086524号
(U3086524)

(45) 発行日 平成14年6月28日 (2002. 6. 28)

(24) 登録日 平成14年3月27日 (2002. 3. 27)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

FI

G 0 6 K 19/00

G 0 6 F 3/00

S

G 0 6 F 3/00

G 1 1 C 5/00

3 0 1 B

G 1 1 C 5/00

3 0 1

G 0 6 K 19/00

Q

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 OL (全 11 頁)

(21) 出願番号 実願2001-7978 (U2001-7978)

(22) 出願日 平成13年12月7日 (2001. 12. 7)

(73) 実用新案権者 598117584

宜得股▲ふん▼有限公司

台湾省桃園縣龜山鄉民生北路一段568號2樓

(72) 考案者 陳 柏蒼

台湾台北縣三峡鎮大同路222巷12弄8號5樓

(74) 代理人 100082304

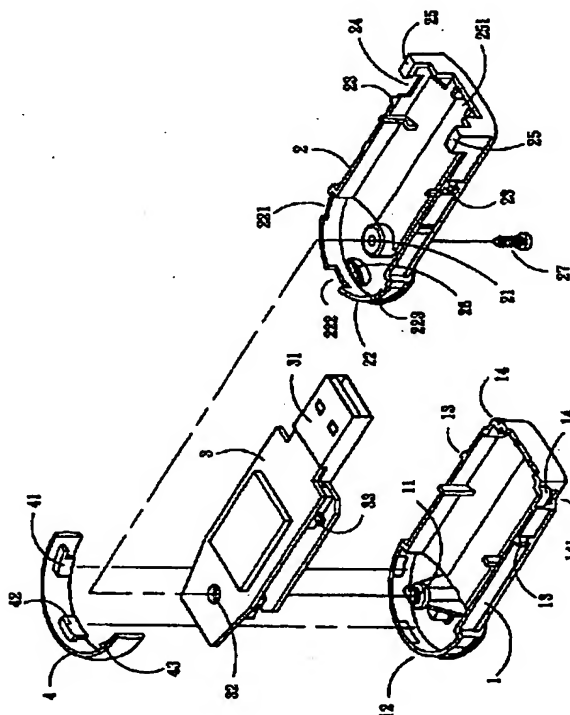
弁理士 竹本 松司 (外5名)

(54) 【考案の名称】 携帯式記憶装置の組合せ構造

(57) 【要約】

【課題】 携帯式記憶装置の組合せ構造の提供。

【解決手段】 底カバーの一侧の二端角に凹部が設けられ、別側にネジ孔が設けられ、別に対応し被覆結合される上カバーの対応部分にフック板と貫通孔が設けられ、上カバー、底カバーが対応し結合され一つの基板を挟持し、並びにボルトでネジ止めされ、該基板のコネクタが上カバー、底カバーの外側に延伸され、こうして記憶装置本体が組み合わされ、該記憶装置本体にケースカバーが套設され、該ケースカバーのもう一端に貫通孔が設けられ、該記憶装置本体のコネクタヘッドが外向きに凸出し、該ケースカバーと記憶装置本体の相対伸縮スライドに、ケースカバー内と記憶装置本体外側に対応設置されるストッパ板、側凸塊が組み合わされて、コネクタヘッドが外向きに凸出或いは内縮する動作変化を形成可能で、並びに設定位置に位置決め可能とされている。



BEST AVAILABLE COPY

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 記憶装置本体とされ、一端部に凸伸するコネクタヘッドが設けられ、該記憶装置本体の二側中段それぞれに外向きに突出する側凸塊が設けられた、上記記憶装置本体と、

ケースカバーとされ、その一端に開口が設けられて、前述の記憶装置本体の伸入に供され、ケースカバーの別端に貫通孔が設けられ、該記憶装置本体のコネクタヘッドの外向きに凸伸に供され、該ケースカバーの二内側中段それぞれに内向きに凸伸するストッパ板が設けられ、該ストッパ板が前述の記憶装置本体の側凸塊の外向きの滑脱を阻止し、記憶装置本体をケースカバー内に保持して往復スライドさせ、且つコネクタヘッドが貫通孔より外向きに凸伸するか或いは内向きに収納される位置変化を形成可能とされた、上記ケースカバーと、を少なくとも具えたことを特徴とする、携帯式記憶装置の組合せ構造。

【請求項2】 前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体が底カバー、上カバー、基板で構成され、底カバーは中央が凹んだケース体とされ、その一端部に周縁に向けて突出する拡張円弧縁が形成され、別端に、二側端角において凹部が形成され、各凹部の、底カバーの開口周縁に凸円弧縁が設けられ、基板がメモリモジュールと関係回路を収容し、その一端部に貫通孔が設けられ、もう一端よりコネクタヘッドが延伸され、上カバーもまた中央が凹んだケース体とされ、その一端に貫通孔、拡張円弧縁が設けられ、それぞれ底カバーのネジ孔、拡張円弧縁に対応し、上カバーの別端中間に、切り欠きが設けられ、且つ二端に、前述の底カバーの凹部に対応し突出するフック板が設けられ、各フック板が底カバーの端角の凹部内に伸入して凸円弧縁に係止されて底カバーと上カバーの一端が位置決めを形成し、且つ基板のコネクタヘッドが上カバーの切り欠きより伸出し、さらにボルトが上カバー、基板の貫通孔を貫通し、底カバーのネジ孔内にねじ込まれ、底カバー、上カバーの別端が強固に結合されたことを特徴とする、請求項1に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造。

【請求項3】 前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体が側装飾条を具え、該側装飾条が円弧形条体とされ、その内側縁に複数の、開口が下向きのフック部が設けられて、底カバーの拡張円弧縁周縁を保持し、上カバーの拡張円弧縁の周縁に複数の凹口が設けられて側装飾条の各フック部に対応し、各凹口が側装飾条の各フック部に収容されることにより、上カバーと底カバーの結合時に、その接合面が密着し、且つ側装飾条がその接合間隙を被覆することを特徴とする、請求項2に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造。

【請求項4】 前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、上カバーの二側に、前述の底カバーの側凸塊位置に対応して二つの側凸塊が設けられたことを特徴とする、

請求項2又は3に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造。

【請求項5】 前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、基板の側辺に駆動スイッチが設けられて、メモリモジュールが書き込み動作を行うか否かを制御し、上カバー、ケースカバーの対応位置に側切り欠き、側開口が設けられ、上述の駆動スイッチの外部への露出に供されたことを特徴とする、請求項2又は3に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造。

【請求項6】 前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体の底カバー或いは上カバーの中段に少なくとも一つの凸塊が設けられ、ケースカバーの内縁の対応位置に案内滑り溝が設けられて、該凸塊の嵌入に供され、並びに記憶装置本体のケースカバー内でのスライドを案内することを特徴とする、請求項2又は3に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造。

【請求項7】 前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体のケースカバーより露出する一端部に少なくとも一つのフック孔が設けられて縄或いはキーホルダーを通すのに供されることを特徴とする、請求項1に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造。

【請求項8】 前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、コネクタヘッドがUSBコネクタとされたことを特徴とする、請求項1に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の記憶装置本体の分解斜視図である。

【図2】 本考案の部分組合せ表示図である。

【図3】 本考案のコネクタヘッド収納時の動作表示図である。

【図4】 本考案のコネクタヘッド凸伸時の動作表示図である。

【図5】 本考案のコネクタヘッド収納時の平面断面図である。

【図6】 本考案のコネクタヘッド凸伸時の平面断面図である。

【図7】 本考案のコネクタヘッド収納時の側面断面図である。

【図8】 本考案のコネクタヘッド凸伸時の側面断面図である。

【符号の説明】

1	底カバー	27	ボルト
11	ネジ孔	28	凸塊
12、22	拡張円弧縁	3	基板
13、23	側凸塊	31	コネクタヘッド
14	凸円弧縁	33	駆動スイッチ
141	凹部	4	側装飾条
2	上カバー	41、42、43	フック部
21、32、52	貫通孔	5	ケースカバー
221、222、223	凹口	51	開口

3

4

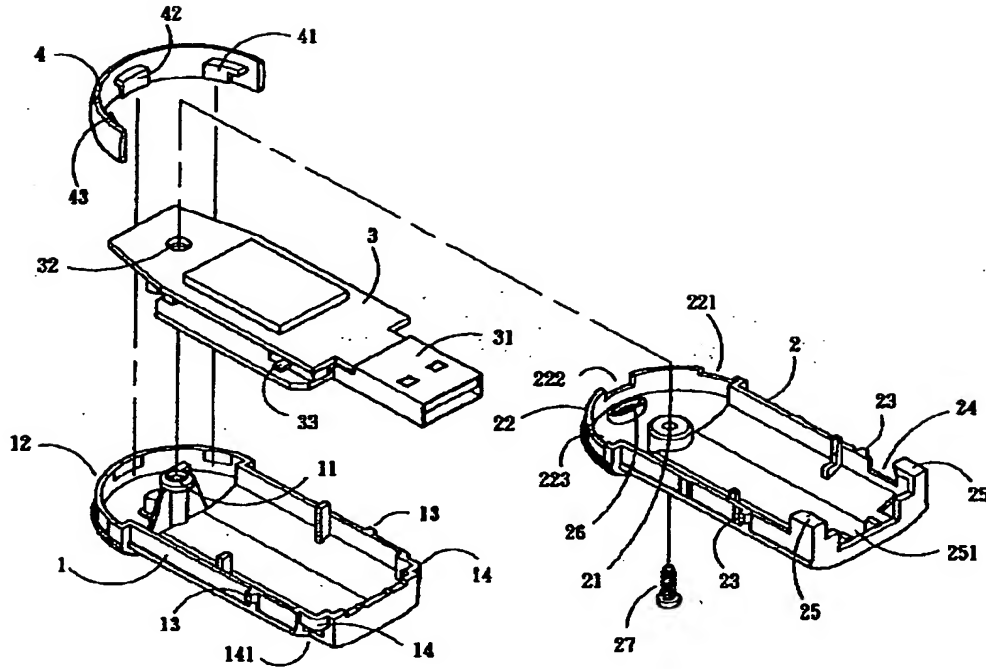
24 側切り欠き
25 フック板

53 ストップ板
54 案内滑り溝

251 凹口
26 フック孔

55 側開口

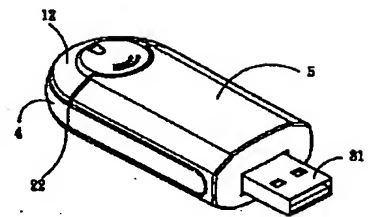
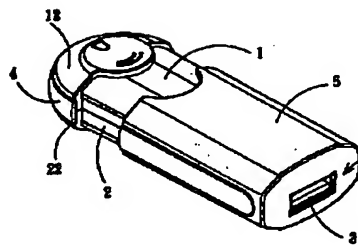
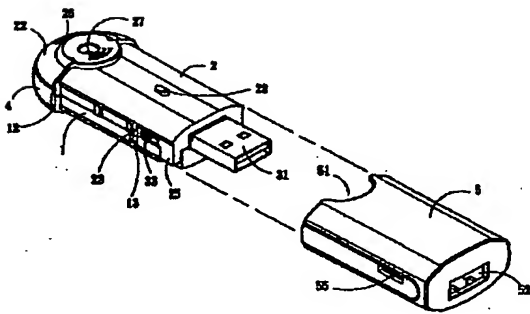
【図1】



【図2】

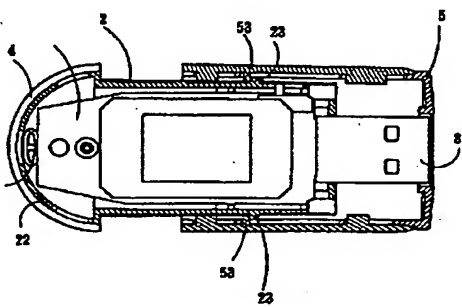
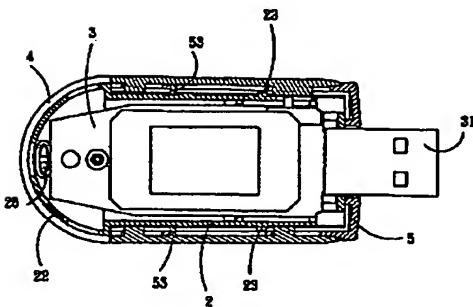
【図3】

【図4】

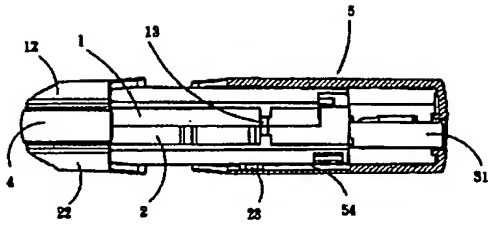


【図5】

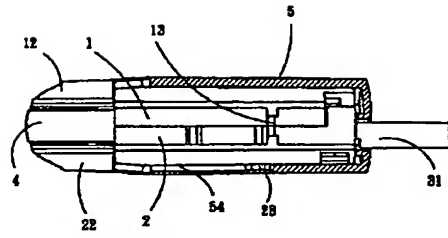
【図6】



【図7】



【図8】



【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は一種の携帯式記憶装置の組合せ構造に係り、特に、体積が小さく、組合せが容易で外観が精緻であり、携帯しやすく、保護性が良好な携帯式記憶装置の組合せ構造に関する。

【0002】

【従来技術】

コンピュータ及び関連情報製品の発明は、人々の生活習慣を改変し、情報の快速流通と情報処理能力の増加により、社会環境と形態も快速に変遷した。上述の情報の流通には多くの方式があり、例えば、現在極めて流行しているインターネット、LAN、無線伝送、無線ネットワーク伝送等がある。そのうち、伝送効率、コスト、回路延伸密度及びデータ伝送の安定性等を考慮すると、ネットワーク応用には未だ克服されていないネックがあり、このため、適当な記憶装置で必要な情報を保存し、並びに携帯できる特性を持たせることは、現在の情報保存及び流通のもう一つの思考方向である。

【0003】

さらに、科学技術の進歩と流行の影響により、各種の生活必需製品（特に電器、情報製品）はすでに軽薄短小化の方向に発展しており、この前提下で、上述の各種の情報処理或いはデータ保存を満足させる記憶装置もまた、体積が小さく、使用が簡便で、携帯しやすい特性を持たなければ、市場での競争力を有するための基本要求を達成できない。例えば現在広く歓迎されているフラッシュRAMモジュールは、USBでパソコン、ノートパソコンに接続される記憶装置製品であり、それは十分に上述の体積が小さく、使用が簡便で、携帯しやすい特性を満足させ、大衆の需要に符合する。

【0004】

しかし、関連して発生する一つの問題があり、即ち、上述の記憶装置は使用が簡便で、携帯しやすいことを第一に考えられているが、その携帯時に、一般にポケット或いはバッグに収容され、行動中に発生する揺れや衝突或いは不正常的な異

物による圧迫により、露出部品（特にUSBコネクタ）の損傷を形成する。このため、露出部品（USBコネクタ）外に別にカバーを設けて遮蔽する設計により、損害を防止している。しかし、実際の応用上、このカバーは使用時に分離して取り外さねばならず、記憶モジュールの使用時間及び関係環境がいずれも極めて複雑であり、反復し結合し、取り外して別に放置するうちに、カバーを遺失することがあり、もとの露出部品保護の機能を失墜した。

【0005】

さらに、伝統的な類似の小型ケースの組合せ形態では、体積と金型の精度の制限により、多くは係合方式で組み合わせられ、ゆえに、そのケースの形状の多くは単純に二つの半ケースを対向するように結合させ、直接ボルトで結合固定している。しかしこれは組立に時間と手間がかかり、且つ外觀上精緻性に欠けていた。

【0006】

ゆえに、いかに製品の完全性と保護機能を確保する前提下で使用が簡便で携帯しやすい目的を達成し、並びに製品に一定程度の精緻性を持たせるかは、関係業者が努力すべき課題であった。

【0007】

本考案は周知の携帯式記憶装置の有する上述の欠点を鑑み、その改善のために提供される。

【0008】

【考案が解決しようとする課題】

本考案は一種の携帯式記憶装置の組合せ構造を提供することを課題とし、それは、底カバーの一侧の二端角に凹部が設けられ、別側にネジ孔が設けられ、別に底カバーに対応しそれを被覆するように結合される上カバーの対応部分にフック板と貫通孔が設けられ、上カバー、底カバーが対応し結合され一つの基板を挟持し、並びにボルトでネジ止めされ、該基板のコネクタが上カバー、底カバーの外側に延伸され、こうして組立が簡単で、使用に便利な記憶装置本体が形成される。

【0009】

本考案は一種の携帯式記憶装置の組合せ構造を提供することを次の課題とし、

それは、上述の記憶装置本体にケースカバーが套設され、該ケースカバーのもう一端に貫通孔が設けられ、該記憶装置本体のコネクタヘッドが外向きに凸伸し、該ケースカバーと記憶装置本体の相対伸縮スライドに、ケースカバー内と記憶装置本体外側に対応設置されるストッパ板、側凸塊が組み合わされて、コネクタヘッドが外向きに凸伸或いは内縮する動作変化を形成可能で、並びに設定位置に位置決め可能とされ、使用に便利で収納携帯しやすい機能を達成する。

【0010】

【課題を解決するための手段】

請求項1の考案は、

記憶装置本体とされ、一端部に凸伸するコネクタヘッドが設けられ、該記憶装置本体の二側中段それぞれに外向きに突出する側凸塊が設けられた、上記記憶装置本体と、

ケースカバーとされ、その一端に開口が設けられて、前述の記憶装置本体の伸入に供され、ケースカバーの別端に貫通孔が設けられ、該記憶装置本体のコネクタヘッドの外向きに凸伸に供され、該ケースカバーの二内側中段それぞれに内向きに凸伸するストッパ板が設けられ、該ストッパ板が前述の記憶装置本体の側凸塊の外向きの滑脱を阻止し、記憶装置本体をケースカバー内に保持して往復スライドさせ、且つコネクタヘッドが貫通孔より外向きに凸伸するか或いは内向きに収納される位置変化を形成可能とされた、上記ケースカバーと、

を少なくとも具えたことを特徴とする、携帯式記憶装置の組合せ構造としている。

請求項2の考案は、前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体が底カバー、上カバー、基板で組成され、底カバーは中央が凹んだケース体とされ、その一端部に周縁に向けて突出する拡張円弧縁が形成され、別端に、二側端角において凹部が形成され、各凹部の、底カバーの開口周縁に凸円弧縁が設けられ、基板がメモリモジュールと関係回路を收容し、その一端部に貫通孔が設けられ、もう一端よりコネクタヘッドが延伸され、上カバーもまた中央が凹んだケース体とされ、その一端に貫通孔、拡張円弧縁が設けられ、それぞれ底カバーのネジ孔、拡張円弧縁に対応し、上カバーの別端中間に、切り欠きが設けられ、且つ

二端に、前述の底カバーの凹部に対応し突出するフック板が設けられ、各フック板が底カバーの端角の凹部内に伸入して凸円弧縁に係止されて底カバーと上カバーの一端が位置決めを形成し、且つ基板のコネクタヘッドが上カバーの切り欠きより伸出し、さらにボルトが上カバー、基板の貫通孔を貫通し、底カバーのネジ孔内にねじ込まれ、底カバー、上カバーの別端が強固に結合されたことを特徴とする、請求項1に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造としている。

請求項3の考案は、前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体が側装飾条を具え、該側装飾条が円弧形条体とされ、その内側縁に複数の、開口が下向きのフック部が設けられて、底カバーの拡張円弧縁周縁を保持し、上カバーの拡張円弧縁の周縁に複数の凹口が設けられて側装飾条の各フック部に対応し、各凹口が側装飾条の各フック部に収容されることにより、上カバーと底カバーの結合時に、その接合面が密着し、且つ側装飾条がその接合間隙を被覆することを特徴とする、請求項2に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造としている。

請求項4の考案は、前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、上カバーの二側に、前述の底カバーの側凸塊位置に対応して二つの側凸塊が設けられたことを特徴とする、請求項2又は3に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造としている。

請求項5の考案は、前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、基板の側辺に駆動スイッチが設けられて、メモリモジュールが書き込み動作を行うか否かを制御し、上カバー、ケースカバーの対応位置に側切り欠き、側開口が設けられ、上述の駆動スイッチの外部への露出に供されたことを特徴とする、請求項2又は3に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造としている。

請求項6の考案は、前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体の底カバー或いは上カバーの中段に少なくとも一つの凸塊が設けられ、ケースカバーの内縁の対応位置に案内滑り溝が設けられて、該凸塊の嵌入に供され、並びに記憶装置本体のケースカバー内でのスライドを案内することを特徴とする、請求項2又は3に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造としている。

請求項7の考案は、前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、記憶装置本体のケースカバーより露出する一端部に少なくとも一つのフック孔が設けられて縄或いはキーホルダーを通すのに供されることを特徴とする、請求項1に記載の携

帯式記憶装置の組合せ構造としている。

請求項8の考案は、前記携帯式記憶装置の組合せ構造において、コネクタヘッドがUSBコネクタとされたことを特徴とする、請求項1に記載の携帯式記憶装置の組合せ構造としている。

【0011】

【考案の実施の形態】

図1は本考案の記憶装置本体の分解斜視図である。図2の部分組合せ図も参照されたい。本考案の記憶装置本体は底カバー1、上カバー2、基板3及び側装飾条4で組成され、そのうち底カバー1は中央が凹んだケース体とされ、その一端部に周縁に向けて突出する拡張円弧縁12が形成され、別端に、二側端角において凹部141が形成され、各凹部141の、底カバー1の開口周縁に凸円弧縁14が設けられ、前述の拡張円弧縁12の中央部分に別にネジ孔11が設けられ、底カバー1の二側にそれぞれ側凸塊13が設けられ、上カバー2もまた中央が凹んだケース体とされ、その一端にそれぞれ前述の底カバー1のネジ孔11、拡張円弧縁12に対応して、貫通孔21、拡張円弧縁22が設けられ、該拡張円弧縁22の周縁にそれぞれ複数の凹口221、222、223が設けられ、且つ貫通孔21、拡張円弧縁22間にフック孔26が設けられ、ローブ或いはキーホルダを通すのに供され、上カバー2の別端中間に切り欠き251が設けられ、且つ二端に、前述の凹部141に対応して突出するフック板25が設けられ、また、上カバー2の二側に別に前述の底カバー1の側凸塊13に対応して側凸塊23が設けられ、並びに一侧の側凸塊23の傍らに別に側切り欠き24が設けられ、上カバー2の背側中央に凸塊28が設けられ、基板3はメモリモジュールと関係回路を收容し、その一端部に貫通孔32が設けられ、もう一端よりコネクタヘッド31(USBインタフェースとされうる)が延伸され、該基板3の辺側に駆動スイッチ33が設けられ、メモリモジュールが書き込み動作を実行するか否かを制御し、側装飾条4は円弧形条体とされ、その内側縁の、上カバー2の凹口221、222、223に対応する位置に複数の、開口が下向きのフック部41、42、43が設けられている。

【0012】

組立時には、基板3が底カバー1、上カバー2の間に置かれ、上カバー2の各フック板25が底カバー1の凹部141に嵌入して、凸円弧縁14に係止された結合状態を形成し、さらに側装飾条4のフック部41、42、43が底カバー1の拡張円弧縁12に係止され、且つ上カバー2の凹口221、222、223がフック部41、42、43上に套設され、圧接されて位置決めされ、最後にボルト27が貫通孔21、32を貫通しネジ孔11内にねじ込まれることにより、底カバー1と上カバー2がしっかりと基板3を挟持し、並びにコネクタヘッド31が上カバー2の切り欠き251より外向きに凸出し、記憶装置本体の組立が完成し、組合せ後の記憶装置本体の基板3の駆動スイッチ33が上カバー2の側切り欠き24より露出し、記憶装置本体の外側にケースカバー5が套設され、ケースカバー5の一端に開口51が設けられて、前述の記憶装置本体の伸入に供され、ケースカバー5の別端に貫通孔52設けられて、コネクタヘッド31の外向きの凸出しに供され、ケースカバー5の二側中段にそれぞれ内向きに延伸されたストッパ板53が設けられ、そのうち一つのストッパ板53の傍らに、側開口55が設けられ、且つケースカバー5の内側に縦向きに延伸された案内滑り溝54が設けられている。

【0013】

本考案は上述の構造を有し、その一端に係合する結合方式により、有効に組立ステップを簡素化し、部品の使用を減少し、加工効率を増加しコストを減らす効果を達成する。上カバー2、底カバー1の接続間隙の位置に側装飾条4が結合され、さらに全体の外観が良くされ、製品の精緻な質感が高められ、市場での競争力を高めている。

【0014】

図3から図8は本考案のコネクタヘッドの収納或いは突出使用時の各動作の斜視図、断面図である。各図に示されるように、使用時、ケースカバー5が記憶装置本体の外側に套設され、且つコネクタヘッド31端がケースカバー5の貫通孔52より突出し（凸塊28がちょうど案内滑り溝54内に伸入して案内を形成する）、記憶装置本体のスライド行程が各ストッパ板53の阻止と側凸塊13、23の制限を受け、コネクタヘッド31が貫通孔52より外向きに突出或いは内縮

する位置変化を発生可能で、使用或いは収納の異なる用途及び状態に適用される

。

【0015】

【考案の効果】

以上から分かるように、本考案の携帯式記憶装置の組合せ構造は、確実に使用が簡便で、携帯しやすく且つ保護効果が良好である機能を達成し、且つその構造は従来にはなく、実用新案登録の要件を具備している。なお、本考案に基づきな
しうる細部の修飾或いは改変は、いずれも本考案の請求範囲に属するものとする

。

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.